

令和6年度 第1回加古川養護学校運営協議会 議事録

1 日 時：令和6年4月17日（水）15：30～16：30

2 場 所：加古川養護学校相談室

3 参加者：上荘町町内会連合会代表

学校医

P T A会長

学校長、教頭、教務主任

4 議事録

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 学校運営協議会について
- (3) 委嘱状交付
- (4) 自己紹介
- (5) 会長選出
- (6) 学校運営の基本方針について（学校長）

令和6年度短期経営目標のうち重点目標

- ◎ICT 機器の積極的な活用による指導方法の工夫改善
- ◎安全かつ効果的な「身体の学習」の実施
- ◎魅力ある学校行事の実施
- ◎交流・共同学習の推進
- ◎キャリア教育の推進
- ◎新たな情報配信システムの導入による「学校の見える化」
- ◎専門性と実践的指導力の向上

協議（各委員からの主な意見・質問等）

- ・修学旅行及び校外学習時、スクールバスに乗車できない医療的ケアのある幼児児童生徒の介護タクシー予算が少ないのではないかと。修学旅行費は賄えるが校外学習費は保護者の実費負担となっているため増額を要望するとともに、修学旅行及び校外学習時における保護者付添にかかる宿泊費等経費の予算化要望していく必要がある。（PTA）
- ・スクリレを新たに導入するということであるが、有償によるオプションを付与された方がサービスも充実する。保護者負担ではなく、今後は経費の市費予算化が必要であるとする。（PTA）
- ・今年度より積極的に行事を再開させるとあるが、すべてにおいて制限を撤廃するの

か。(議長・校医)

→重度な子どもが増えているため、そのときの状況を見ながら実施予定。

- ・講師等の先生方の割合が高いとあるが、ほとんどの教員が講師なのか。(議長)

→講師ばかりではないが、他校と比べても割合は高い。そのため、専門性の向上及び学びの継続性を考えると、正規教員の確保は必要不可欠である。加えて、医療的ケア習得等、研修を充実させる必要がある。

→医療的ケアができる教員を確保していくためにも、専門性の高い教員の異動については、一律ではなく柔軟な対応が必要であると考ええる。

- ・特別支援（医療的ケア）に初めて携わるという教師への心的なバックアップ必要。

メンタル不調にも繋がる。(校医)

- ・担任が誰になるかということは保護者にとっては大変重要。日々、さまざまな思いを持たれている保護者が多いが担任に直接は言いにくいいため、相談窓口担当を決めてはどうか。教務やCo等（PTA）

- ・本校は小・中学校とは違い、チーム担任制で取り組まれており、そのノウハウがある。横の連携もしっかりできている。保護者の求めるものが強すぎる傾向があるため、教師側の立場にたった理解も必要である。(校医)

- ・両荘みらい学園が5月に祭りを行う。もし、可能であるならば保護者のみなさんもお子さんと一緒に参加されてはどうか。(議長)

(7) 閉会

《次回（第2回学校運営協議会）の予定》

日 時 令和6年10月9日（水）15：30～

協議内容 本校の教育活動についての意見交換